

クリスチャンとして歩み始める中で「神と個人的な関係を持つ」とか「神の言葉に耳を傾ける」などといった少し耳慣れない言葉を耳にされて疑問でいっぱいの方もいるかもしれません。

<02>

なぜなら、救われたばかりの人にとっては神が私たちが愛していること、救われたこと、教会に通い始めるようになったこと、そういったことだけでも新しい出来事の連続であるのに、それまで考えたこともなかった「神との個人的な関わり」について聞かされるからです。しかし、心配は要りません。「神と個人的な関係を持つ」「神の言葉に耳を傾ける」といった事は、すべての人に開かれた扉であり、誰でもできるのです。

その手段には様々なものがありますが御言葉（聖書の言葉）を通じてなさえることは典型的なものです。

<04>

聖書そのものに神の霊が宿っているわけではありません。また、聖書の言葉を家の中に掲げると自動的にその家が祝福されるわけではありません。しかし、聖書の言葉を私たちが読むとき、聞くときに、そこに神の霊が働くが故、まるで冷凍食品が解凍されるように生きた神の言葉としての命と力が与えられるのです。

<05>

聖書には次のように書いてあります。

1) 聖書の言葉を通じてうけとるものは神そのものである

(ヨハネ 1:1) 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

<06>

使徒 7:38 また、この人が、シナイ山で彼に語った御使いや私たちの先祖たちとともに、荒野の集会において、生けるみことばを授かり、あなたがたに与えたのです。

<07>

2) 私たちの霊的食物

(マタイ 4:4 イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。』」と書いてある。)

<08>

人は「霊、魂、身体」で構成されています。体は食べ物によって、魂は心を満たすことによって養うことができます。それと同様に霊も養われる必要があります。最も効果的な方法の一つが聖書の言葉に触れることです。

<09>

3) 人生の光

道を照らす光：人生でどちらを選択をして、どのように歩めば良いのかわからないことが多々あります。それは暗闇の中を明かりなしで歩むようなものです。

(詩篇 119 編 105 節) あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。

<10>

ですから、皆さんが日々聖書に親しみ聖書を読み聖書の言葉を思い巡らす生活をされることをお勧めします。

<11>

4) 育成する

(使徒の働き 20:32) いま私は、あなたがたを神とその恵みのみことばとにゆだねます。みことばは、あなたがたを育成し、すべての聖なるものとされた人々の中にあって御国を継がせることができます。

<12>

5) 鏡

自分自身の姿を映し出し、自分の立ち位置や自分に欠けているものがあることを思い出させます。

(ヘブル 4:12) 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髓の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。

<13>

6) 神の語りかけの材料

神は私たちの心に語りかけることができます。その語りかけは聖書の言葉から外れてなされることはありません。私たちの心に聖書の言葉が蓄えられているなら、その語りかけを容易に受け取ることができるのです。

<14>

■御言葉を受け取る方法

1) 毎日少しずつ読むこと

私たちの教会では、最初から聖書を全部読むことを勧めています。その気になれば 1 年で読むこともできます。聖書は分厚い本で 1189 章ありますが、一日に 3 章～4 章ずつ読めば誰でも 1 年で読み終われます。

<15>

教会では、毎日メールで聖書の箇所を配信しています。4 段階のハードルの高さで受け取れると思います。

- (1) ただ、送られてきたメールの解説の文章を読むだけ
- (2) その日の文章の前の方に書かれた (リビングライフに基づいた) 聖書の箇所を読む
- (3) その御言葉を思いめぐらせる
- (4) メール文末にある「1 年間で聖書を読むための記載カ所を読む」

<16>

継続的に読むときに理解できない部分も多いでしょう。効率を考えるなら、聖書の解説書、あるいは聖書の内容について本を読むほうが良いと考えるかもしれません。もちろん、そういった学び方も役に立ちます。しかし、聖書から直接受け取っていくという習慣はしっかりとした土台を人生に与えることでしょう。

<17>

なぜなら聖書は神の生きた言葉であるがゆえ、信仰生活を何年続けていたとしても、常に新鮮に私たちに語りかけてきます。ですから「聖書の言葉から直接受け取っていく」習慣ができていなければ、いつの間にか古い解釈、古い理解に縛られてしまうことがあるのです。

<18>

聖書の言葉を理解させてくださるのは神の霊 (聖霊) なので常に聖霊により頼む姿勢も必要なのです。ですから、とにかく聖書を読み続け、そしてわからないこと、質問があったら書き留めてください。そして後日、牧師などの教師的な人に尋ねればよいのです。

<19>

全世界を創造された神のすべての知恵と力の泉がこの一冊に凝縮されているのですから。たとえわずかしら理解できなくても、その片鱗に触れるだけでも素晴らしいことだと思います。

<20>

2) 教会のメッセージ (説教) を通じて  
聖書の言葉が料理の材料で、自分で読むことが日々の家庭料理であるなら、教会で語られるメッセージは、シェフが腕を振るった四季折々の料理、偏った栄養バランスを補正するための食事療法食といえるでしょう。また、牧師などが、現在教会に語られている神の言葉を取り次ぎ慰め励ましチャレンジを与え方向性を与えます。

<21>

YouTube ライブもありますので、日曜礼拝に出席できないときにも、聞かれる事を推奨いたします。

<22>

3) 基礎の学びやその他の学び会  
スモールグループで、かゆいところに手が届く聖書の学びができます。

<23>

4) 暗唱する  
暗唱は単なる頭の知識ではありません。それは心と霊に蓄えられるのです。

<24>

5) 音読する  
声に出して読むことは告白です。それによって信仰が立てあげられます。(ヘブル 10 : 23)

<25>

6) 耳で聞くこと  
「信仰は耳で聞くことから始まる」(ローマ 10 : 17) と聖書は告げています。音読は耳で聞くことを意味します。また、聖書の朗読をドラマ化して収録した無料アプリがあるのでそれを聞くのもひとつの手です。

<26>

7) 聖書講解解説書  
御言葉から直接受け取ることは大切ですが、数千年の歴史を持つ聖書解釈研究の成果から学ぶことは大変有効です。解説書を読んだり、聖書学校の授業の CD を聞くことによって御言葉を深く学ぶことができます。

<27>

8) SCG 聖書学校 :  
将来的に YouTube にある教えや、基礎の学びへの出席を単位とする聖書学校の開校を計画しています。